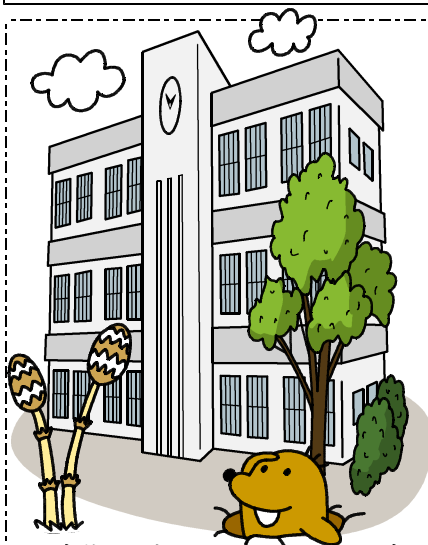




『年度末を迎え』

校長 木村 明彦

暦は、何かと気ぜわしい、年度末の3月となりました。ここ何日かは、気温の低い日が続いていますが、2月にもかかわらず、4月並みの気温の日もあり、春の気配を感じる季節となって参りました。今冬は、コロナ禍だけではなく、インフルエンザも猛威を振るっており、油断はできない状況です。保護者・地域の皆様におかれましても、健康にお過ごしいただきたいと思います。

さて、学校も3月を迎え、いよいよ一年の締めくくりの時期となりました。予定していた教育課程は、順調に進み、あとは一年のまとめと卒業式を残すのみとなり、子どもたちも毎日元気に登校してくれています。様々なことのあった一年ではありますが、日々の努力の積み重ねで成長してくれた、現在の一人一人の子どもたちの姿が、何よりと、嬉しく思っているところです。

さて、現代社会の変化は著しく、『よそ事』のように感じていたICT最新技術などが、日常生活で、身近に感じられるようになってきました。人口減少や労働力不足、少子化を背景とした様々な社会課題が、ICT最新技術を駆使して解消され始めたことで、生活の中でも、随所に見受けられるようになりました。しかも、少し強引ともとれる企業側のICT化が進み、利用者側には、選択の余地がないほどです。ファミレスでの注文、銀行通帳のデジタル化、電気使用料のお知らせ等々、あげればきりがありません。このような流れが、今後さらに進んでいくことは、誰もが予見できることです。では、現在の小学生が社会に出る頃には、今の子どもたちには、何が求められるのでしょうか。明確な答えは予見できないものの、旧態依然の教育では立ちゆかないことは明らかです。ですから、学校教育も、義務教育段階から、子どもたちの近未来を見据えた教育へと転換していかなければならないのは、必然であろうと考えます。本校では、ICT教育の推進を、全道に先駆けて進めています。その実践が外部から高い評価を受け、喜茂別小学校が、今年度の「後志管内教育実践表彰」の該当校となりました。保護者・地域の方々のご理解を基盤に、教職員の挑戦と地道な努力が認められた結果と捉えております。今後も、ICT教育に限らず、PTA改革もしっかりですが、令和という時代や社会の変化に対応した改革を、子どもたちの利益のために、進めていこうと考えています。一方で、学校や家庭は、子どもたちにとって、安心・安全な場所であればならないことは、いうまでもありません。進化する社会を見据えた教育に挑戦しながらも、子どもたちの3間(仲間・時間・空間)を大切に、学校も家庭も居心地の良い場所になるよう、今後もしっかりと連携を図り、ともに子どもたちと向き合っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

本年度の重点目標

主体的に学ぶ力の育成を図る～意欲溢れる優しい子～



大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう！



スキー学習

1月から始まったスキー学習は、予定通りすべての日程を終了することができました。クロスカントリー少年団の行天さん、柳川さんには圧雪やコース作りでもご協力いただき、学習を進めることができました。また、低学年の富士見台スキー場(学校の裏山)と中・高学年のルスツでのスキー学習では、喜茂別スキー連盟の方々に、安全に、そして技術を高められるようご指導いただきました。多くの方々からのご協力をいただき、喜茂別町ならではの「アルペンスキー」「クロスカントリースキー」を実施できたことに感謝申し上げます。また、保護者の皆様には、スキー用具の準備や搬入などにご協力いただき、ありがとうございました。



1年生が初めてクロスカントリースキーの授業をするときには、6年生がお世話をしながら、用具の場所を教えたり、はき方や滑り方などを教えてくれました。面倒見がよい高学年の姿は、低学年の思い出にも残り、「今度は下の学年に優しくしてあげよう。」と、自分たちの目指すべき姿になっていきます。よき伝統が今後も継続されていくよう、活動の機会を確保していきます。

新1年生1日入学

1月30日には、保育所のぞう組さんが来校し、1日入学が行われました。2時間の日程で行われ、1時間目には、1年生と一緒に牛乳パックで「パッチンガエル」を作り遊びました。1つ上の学年となった1年生が、お兄さん・お姉さんぶりを発揮し、はさみの使い方や遊び方などを教えてくれていました。2時間目、保護者の方々に説明している間、5年生と体育館で「鬼ごっこ」や「だるまさんが転んだ」をして一緒に遊びました。初めはちょっと緊張気味だった園児の皆さんも、5年生のお兄さんお姉さんに話しかけられて楽しそうに活動することができていました。

また、今年度は久々に給食試食会を行いました。おうちの方々と一緒に「ハヤシライスハッシュドポテト・デザート」を食べました。年長さんはもちろん、保護者の方々にも学校生活の様子を体験していただくことができました。4月から始まる新たな生活に期待をもてるように関係機関と連携しながら見守り、支えていきたいと思えます。



縦割り班活動



2月22日に最後の縦割り班活動がありました。この日は、6班すべてで、「何でもバスケット」が行われ、異学年との交流を楽しんでいました。3学期からは、5年生が6年生のサポートを受けながら、リーダーの仕事を進めました。低学年にも伝わるよう指示の出し方を工夫したり、ゲームがスムーズに進められるようヒントを出したりする姿が見られました。最後に行われた解散式では、5年生が代表して、これまでお世話になった6年生へ感謝の気持ちを伝えました。